

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
西鉄自動車整備 専門学校	昭和52年12月1日	椎葉 小夜子	〒 816-0922 (住所) 福岡県大野城市山田3丁目12-1 (電話) 092-581-7435																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人西鉄学園	昭和37年2月27日	部谷 由二	〒 816-0922 (住所) 福岡県大野城市山田3丁目12-1 (電話) 092-586-2480																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
工業	工業専門課程	自動車整備科		平成7年度文部科学省 告示第7号認定	-														
学科の目的	即戦力としての知識・技術を習得、コミュニケーション力や社会人マナーに優れ、業界で働く覚悟を持った人材の育成をする。併せて、整備士養成機関としての使命を果たすべく、二級自動車整備士資格の全員取得を教育目的とする。																		
認定年月日	平成28年2月29日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
	2年							昼間	2407.5	1024.5	0	1383	0	0					
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
70人		65人	19人	9人	1人	10人													
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 中間試験と期末試験 評価方法は5段階評価 5:85点以上 4:70点以上 3:45点以上 2:30点以上 1:30点未満														
長期休み	■春季:3月下旬～4月上旬 10日間程度 ■夏季:7月下旬～8月上旬 30日間程度 ■冬季:12月下旬～1月上旬 14日程度			卒業・進級条件	所定の成績を取得し課程を修了、出席率が出席すべき日数の90%以上であること。学生納付金(学費等)を納めていること。卒業については、更に国土交通省が定める一種養成施設の規定時間を満たしていること。														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学生の諸状況の早期把握、保護者との連帯強化により早期対応に努めている。出席状況や成績を保護者に通知し情報の共有化に努めている。			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 献血 ■サークル活動: 有														
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) メーカー系自動車販売会社 自動車整備業界			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)														
	■就職指導内容 履歴書の書き方 模擬面接 外部講師による一般常識				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二級ガソリン 自動車整備士</td> <td>②</td> <td>25人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>二級ジーゼル 自動車整備士</td> <td>②</td> <td>25人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	二級ガソリン 自動車整備士	②	25人	23人	二級ジーゼル 自動車整備士	②	25人	22人
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数														
	二級ガソリン 自動車整備士	②	25人		23人														
	二級ジーゼル 自動車整備士	②	25人		22人														
■卒業者数 25 人																			
■就職希望者数 21 人																			
■就職者数 21 人																			
■就職率 100 %																			
■卒業者に占める就職者の割合 : 84 %																			
■その他																			
(令和 3 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)																			
中途退学の 現状	■中途退学者 3名 令和3年4月1日時点において、在学者60名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者57名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の原因 進路変更 学習意欲の衰退 他			■中退率 5%															
■中退防止・中退者支援のための取組 学習意欲の衰退については、学生の諸状況の早期把握、学生との面談、保護者を含めた面談などにより対応している。家庭の経済的環境の変化に対しては、奨学金、教育ローン等の紹介や学費分納制度などにより対応している。																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度、指定校制度、三級自動車整備士有資格者優遇制度、既卒者優遇制度、兄弟姉妹・親子支援制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 前年度の給付実績者については0人																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																		
当該学科の ホームページ URL	https://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/																		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分に活かしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
・学校評価実施規程第11条
・校務運営規程第5章 教育課程編成委員会第9条
・校務運営規程第7章 校務分掌第12条二項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
井上 皓介	トヨタカローラ福岡株式会社 総務部 人事グループ グループ長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
石丸 淳一	トヨタカローラ福岡株式会社 サービス部 技術グループ グループ長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
寺崎 浩二	一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 指導部 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
目原 宏輝	教頭	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	—
浅井 朋晃	総務・学生課 係長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	—
森田 悠暉	教務・就職課	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月・9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月18日 11:00～11:50

第2回 令和4年9月29日 15:00～15:50

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

入学オリエンテーションにて報告、連絡についてのセミナーを実施することで、報連相の重要性について考えさせる機会を学生に与えたい。企業が行う新入社員研修の取り組み事例を参考に内容を検討し、カリキュラムに組み込む予定。これによりなぜそのようなことが重要なのかの意味を理解することで、自発的に行動できるよう教育したい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、勤務体制を通じて実務に関する知識、技術及び技能を習得し、社会人として必要な能力を育成することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任、教務・就職課が各企業を訪問し、学生の学修状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。

実習終了時には、実習担当者による学生の学修成果の評価をふまえ、担任が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習 ①	企業採用担当者の方から社会人としてのマナー、心構え等を説明していただき、働くことの意味、仕事に対する理解を深め、就職に対する意識を早期に持たせる。夏季に行う企業実習に対する注意点などを事前に説明する。	トヨタカローラ福岡(株) ネットトヨタ福岡(株) 福岡トヨペット(株) 福岡トヨタ自動車(株)
企業実習 ②	授業で学習した知識と実技の一体化を図ることを目的とする。また、現場を経験することにより社会人としての厳しさを意識させるとともに基本的な業界の知識、顧客サービスや整備技術の習得を目的とする。	トヨタカローラ福岡(株) 福岡トヨペット(株) 福岡トヨタ自動車(株) ネットトヨタ福岡(株) ネットトヨタ西日本(株) トヨタカローラ博多(株) 福岡日産自動車(株) (株)ホンダ四輪販売福岡・大分 (株)ホンダカーズ博多 (株)九州マツダ 福岡ダイハツ販売(株) 福岡スバル(株) (株)スズキ自販福岡 いすゞ自動車(株) 九州日野自動車(株) UDトラック(株) 三菱ふそうトラック・バス(株) (株)ヤナセ (株)バージョングループ 窪田自動車工業(株) (株)カワサキモータースジャパン
企業実習 ③	夏季の企業体験で学んだことを踏まえ、就職活動についてのより実践的な講義やロールプレイングを行い、学生の仕事に対する意識や覚悟を高める。また、企業の評価について検証を行い課題を認識し、改善を図る。	トヨタカローラ福岡(株) ネットトヨタ福岡(株) 福岡トヨペット(株)
企業実習 ④	日産EV(電気自動車)やe-power(ハイブリッド自動車)等の実車を学校に持ち込んでいただき、技術講義を受講したり、自動運転技術や走行性能を体感したりすることにより、自動車の最新技術や安全性、環境問題等を理解する。	日産自動車(株) 九州日産(株) 日産プリンス福岡販売(株) 福岡日産(株) 北九州日産モーター(株) 日産プリンス山口販売(株) 山口日産自動車(株)
企業実習 ⑤	大型トラック等の実車を学校に持ち込んでいただき技術講義を受講したり、自動ブレーキサポートシステムや大型トラックの走行性能等を同乗体感することにより、物流を支える人々やトラックの大切さ、労働環境の改善に関わる技術革新を理解する。	いすゞ自動車九州(株)

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
職務の遂行に必要な知識及び技術等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力および資質等の向上を図る。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	日産技術講習会	連携企業等:	日産自動車(株)
期間:	8月2日	対象:	教職員
内容:	日産のインテリジェントモビリティ・プロパイロット2.0・衝突軽減システム・e-PEDAL等の最新技術を体験し学生の教育等に役立てる。		
研修名:	整備主任法令研修会	連携企業等:	(社)福岡県自動車整備振興会
期間:	10月～11月	対象:	教職員
内容:	自動車整備事業の現状把握、自動車関係法令の変更点確認		
研修名:	新型車・新装置に関する研修会	連携企業等:	(社)福岡県自動車整備振興会
期間:	11月10日	対象:	教職員
内容:	大型自動車に搭載される新機構の構造・機能および故障診断方法等を理解して教育等に役立てる。		

研修名:	新機構研修会	連携企業等:	筑紫自動車整備協会
期間:	11月13日	対象:	教職員
内容	電子制御やトラブルシューティング・センシングカメラのレーシング法・CVTの構造等・尿素SCRシステム等を理解し教育に役立てる。		
研修名:	SUBARUオンライン技術研修	連携企業等:	福岡スバル(株)
期間:	11月23日	対象:	教職員
内容	SUBARUの安全思想、安全技術、最新技術や2025ビジョンについて理解し教育等に役立てる。		
研修名:	自動車検査員法令研修	連携企業等:	(社)福岡県自動車整備振興会
期間:	1月～2月	対象:	教職員
内容	自動車整備事業の現状把握、自動車関係法令の変更点確認		
研修名:	新型レボーク高度運転支援機能EyeSightXに関する研修	連携企業等:	(社)福岡県自動車整備振興会
期間:	2月14日	対象:	教職員
内容	新技術の高度運転支援システムについて学び、実車に触れることでより理解を深め教育等に役立てる。		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	初めて部下ができた、教育係になったときに学ぶ究極のあり方	連携企業等:	(有)セレーノ・コーポレーション
期間:	9月10日	対象:	教職員
内容	ラポール形成や人間の本質等を学ぶことで、教職員の教育や学生とのコミュニケーションに役立てる。		
研修名:	「選ばれる学校づくり」シリーズ広告より教育！専門学校ブランド戦略	連携企業等:	大阪府専修学校各種学校連合会
期間:	10月26日	対象:	教職員
内容	学校にとってのブランドを如何に伝えるか、また日頃の教育の在り方を再確認し学生指導や入試に役立てる。		
研修名:	今こそ考える留学生支援-コロナかにおける専門学校のチャレンジ-	連携企業等:	大阪府専修学校各種学校連合会
期間:	10月28日	対象:	教職員
内容	企業側採用担当者と学校側就職支援担当者による対談を視聴することで、今後の留学生の就職支援に役立てる。		
研修名:	留学生担当者教職員研修	連携企業等:	福岡県専修学校各種学校協会
期間:	11月9日	対象:	教職員
内容	出入国在留管理制度等を理解することで、留学生の在留管理等に役立てる。		
研修名:	人権・同和教育研修会	連携企業等:	福岡県専修学校各種学校協会
期間:	11月29日	対象:	教職員
内容	多様な性～性同一性障害(性別不合・性別違和)、入学選考における不適正事象について理解し学生指導や入試に役立てる。		
(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	日産技術講習会	連携企業等:	日産自動車(株)
期間:	8月2日	対象:	教職員
内容	日産のインテリジェントモビリティ・プロパイロット2.0・衝突軽減システム・e-PEDAL等の最新技術を体験し学生の教育等に役立てる。		
研修名:	スバルオンライン技術研修	連携企業等:	福岡スバル(株)
期間:	8月4日	対象:	教職員
内容	スバルの安全思想・基本思想・EV車やメカニックの働き方改善の取り組みを知ることで、学生の教育や就職支援等に役立てる。		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	大学・専門学校等教職員向け 安心・安全口座	連携企業等:	福岡県消費生活センター
期間:	8月22日	対象:	教職員
内容	サイバー犯罪や若者の消費者トラブルの現状や法改定について理解し、学生達のトラブル回避に役立てる。		
研修名:	新任教員研修	連携企業等:	(財)職業教育・キャリア教育財団
期間:	8月2日～8月4日	対象:	教職員
内容	専修学校教育の在り方と授業実践、青年期の学生との向き合い方等を習得し、学生の教育・指導に役立てる。		
研修名:	JAMCA教職員夏季研修会	連携企業等:	全国自動車大学校・整備専門学校協会
期間:	8月16日～19日	対象:	教職員
内容	学生の心理を理解し、指導方法とコミュニケーションの技法を習得し、学生の教育・指導に役立てる。		
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1)学校関係者評価の基本方針			
教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取組を促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。			

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念等の達成に向けた特色ある活動
(2)学校運営	・理念等を達成するための事業計画
(3)教育活動	・教育目的・目標に沿った教育課程 ・キャリア教育の実施 ・資格・免許取得の指導体制
(4)学修成果	・資格・免許の取得率向上への取組み
(5)学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制 ・退学率の低減 ・学生相談に対する相談体制 ・保護者との連携体制の構築
(6)教育環境	・教育上の必要性に十分対応した施設、設備等の整備 ・学外実習 ・インターンシップ等の実施体制の整備
(7)学生の受入れ募集	・接続する教育機関に対する情報提供の取組み
(8)財務	・学校の財務基盤体制 ・予算、収支計画の適正性 ・会計監査 ・収支状況の公開体制
(9)法令等の遵守	・学校が保有する個人情報保護に関する対策の実施
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献の実施
(11)国際交流	・留学生の受け入れ、実施状況

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

新卒者の早期離職防止を目的に、卒業生を集めて座談会を実施。久々にあった元クラスメイトと日頃の苦労話し等を行うことで精神的にリフレッシュできたようであった。卒業生からも取り組みについて高評価を得られた。また、日ごろの悩み等についてアンケートを実施し、卒業生を派遣していただいた企業様にフィードバックし情報の共有を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
井上 皓介	トヨタカローラ福岡株式会社 総務部 人事グループ グループ長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	自動車業界
石丸 淳一	トヨタカローラ福岡株式会社 サービス部 技術グループ グループ長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	自動車業界
寺崎 浩二	一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 指導部 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	業界団体
井上 武之	経歴 篠栗町教育委員長 高等学校校長経験者	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	教育有識者
松尾 哲也	福岡日産自動車株式会社 サービス推進部 係長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/>

公表時期: 令和4年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携及び協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2)各学科等の教育	・収容定員 ・カリキュラム ・資格
(3)教職員	・教員の担当科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事
(6)学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8)学校の財務	・収支状況
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	・留学生の受入れ、実施状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/>

公表時期: 令和4年10月1日

授業科目等の概要

工業専門課程 自動車整備科 令和3年度																
No.	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ガソリンエンジン構造	ガソリンエンジンの構造、作動について理解する	1通	45		○			○		○		
2	○			ディーゼルエンジン構造	ディーゼルエンジンの構造、作動、関連部品等の構造、作動を理解する	1後 2前	50		○			○		○		
3	○			シャシ車体構造	シャシ関連の部品の構造、作動等を理解する	1通	130		○			○		○		
4	○			電装品構造	電気の基本と電装品の構造、作動を学ぶ	1通	83		○			○		○		
5	○			特殊機構	エンジンの電子制御システムやハイブリッド自動車のシステム等を学ぶ	2前	40		○			○		○		
6	○			自動車の力学・数学	自動車整備などに関する計算問題を理解する	1通 2前	52		○			○		○		
7	○			電気・電子理論	半導体の基本と通信システムを学び理解する	1後	27		○			○		○		
8	○			材料	自動車に使われている材料の特徴、材質、用途などを理解する	2前	25		○			○		○		
9	○			燃料・潤滑剤	自動車に用いられる燃料や油脂類の種類、性質、特徴などを学ぶ	1前	30		○			○		○		
10	○			図面	製図で使われる記号や用いられるルール等の基礎を学ぶ	2前	16		○			○		○		
11	○			ガソリンエンジン整備	ガソリンエンジンの構造、作動等を確認し、点検整備法を学ぶ	2前	32		○			○		○		
12	○			ディーゼルエンジン整備	ディーゼルエンジンの構造、作動等を確認し、点検、整備法を学ぶ	2前	30		○			○		○		
13	○			シャシ車体整備	シャシ関係の部品の構造、作動を確認し、点検、整備法を学ぶ	2前	40		○			○		○		
14	○			電装品整備	電装品の構造等を確認し、点検、整備法を学び実践につなげる	2前	40		○			○		○		
15	○			故障原因探究	各装置の故障現象とその診断について学び理解を深める	1後 2前	76		○			○		○		
16	○			整備作業機器	自動車整備に使われる整備機器とその使用方法について学ぶ	1前	12		○			○		○		
17	○			測定機器	自動車整備で使われる測定機器とその使用方法、数値の読み取り方を学ぶ	1前	12		○			○		○		

18	○	○	○	検査機器	自動車整備で使われる検査機器とその使用方法について学ぶ	1 後	12	○	○	○									
19	○	○	○	自動車検査	自動車の定期点検に関する法令を学ぶ	1 後 2 前	30	○	○	○									
20	○	○	○	自動車整備に関する法規	道路運送車両法や法安基準など整備士として必要な法令関係を学ぶ	2 前	30	○	○	○									
21	○	○	○	安全管理	整備作業をする上での安全対策について学ぶ	1 通	5.5	○	○	○	○								
22	○	○	○	工場管理	工場内の各設備の取り扱い等を学ぶ	2 後	7	○			○	○	○						
23	○	○	○	社 会	社会人としてのマナーなど知識全般を身につける	1 通 2 通	182	○	○	○	○								
24	○	○	○	体 育	校外での行事を通してリレーションを構築する	1 前 2 前	18	○			○	○							
25	○	○	○	手仕上げ工作	工作機器について知り、実際に使って作業をする	1 前	24.5				○	○	○						
26	○	○	○	機械工作	溶接機器について知り、実際に使って作業をする	1 前	24.5				○	○	○						
27	○	○	○	基本計測	自動車整備に用いられる測定具を知り、実際に使いこなす	1 通	57				○	○	○						
28	○	○	○	ガソリン 点検・分解・組立 調整・検査	ガソリンエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 通 2 通	245				○	○	○						
29	○	○	○	ジーゼル 点検・分解・組立 調整・検査	ジーゼルエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 通 2 通	162				○	○	○						
30	○	○	○	シャシ 点検・分解・組立 調整・検査	シャシ関係の部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 通 2 通	260				○	○	○						
31	○	○	○	電装品 点検・分解・組立 調整・検査	電装品の分解、点検、組立て、電気装置のシステム点検などの実習を行う	1 通 2 通	217				○	○	○						
32	○	○	○	故障原因探究	自動車に発生した故障を診断し修復作業を行う	1 通 2 通	302				○	○	○						
33	○	○	○	自動車検査作業	自動車が保安基準に適合するか検査ラインで完成検査を行う	1 後 2 通	60				○	○	○						
34	○	○	○	企業体験実習	企業での社会体験を通して実際の仕事を体感する	1 通	31				○	○	○			○	○		
合計								34科目	科目	2407.50 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	卒業年次の出席率が90%以上で、課程が合格点に達していること。 国土交通省の規定のもと、学科(講義)600時間以上、実習1200時間以上の受講。	1学年の学期区分	2期
履修方法：	規定以上の出席率と学科、実習の規定時間以上の受講、かつ試験で合格点以上取得すること。 出席日数、受講時間が規定に満たない場合は、補習や補講にて補うことができるものとしている。	1学期の授業期間	27週